

参 考 資 料

第 1 回 ~ 第 3 回委員会における一般傍聴者の意見(原文のまま)

第1回～第3回委員会における一般傍聴者の意見(原文のまま)

	一般傍聴者の意見・感想等
第1回流域委員会	<p>【千葉市、男性、65歳】</p> <ul style="list-style-type: none">ラムサール条約登録地としての釧路湿原の現状と将来については、多少なりとも自然保護に関心を持つ日本中、さらに言えば世界からも注目されているところと思います。特に日本の各地で行われようとしている、いわゆる「自然再生」事業の理念や進め方については、一般外部からの見かけと、実状との差異が大きく、自然保護に関心を持つ者の意図とはかけ離れた計画が強力に推進されようとしている感も否めません。「再生事業」の先駆者となるべき釧路川流域の河川整備に当たっては、できる限り、広範囲の様々な立場の人々の意見、意思をくみ上げられるような仕組みの中での計画立案、実施(手をつけないを含めて)を願っています。また、自然の時間に基づく「長い目」からの調査、検討、実験などを踏まえながら、この種の事業の良き手本となるような方策を目指して下さい。委員の方々のご活躍を祈念いたします。傍観の機会を与えられたこと、感謝いたします。